

	七松小学校 学校だより	令和5年度 2月号 尼崎市立七松小学校 校長 中島 賀子
---	--------------------------	--

☆ ホームページアドレス <http://www.ama-net.ed.jp/school/E31/>



恩返しと恩送り



暦の上ではまもなく節分、立春となりますが、今が一番寒い時期です。ですが、本校の桜の木やハナミズキの木は、来るべき春に備え、芽をつけています。全国的にインフルエンザ等の感染症が猛威をふるう中、本校では、今のところ、落ち着いた状況です。これは、日頃から家庭での過ごし方に気を配っていただいたり、学校でも換気に気を配ったりしているからだと思っています。でも、まだまだ油断は禁物です。手洗い・休養・栄養のある食事等、今まで通り、学校でも家庭でも子どもたちを守っていききたいです。

さて、「恩送り」という言葉をご存じですか。年配の方は、昔はちよくちよく聞いたと言われます。この「恩送り」という言葉は、私が最も尊敬する先生が教えてくださった言葉です。「恩返し」はよく聞く言葉ですが、「恩送り」はあまりなじみのない言葉です。恩を受けたと思ったら、その人に返すのが、「恩返し」、それを次の世代の人たちに送るのが「恩送り」だそうです。恩返しをすることは、当たり前のことだが、恩送りをすることは、難しいことだと言っておられました。その先生は、先輩から教えていただいたことをその先輩にお返しすることはもちろんのこと、それを後輩に送るということで、70歳を過ぎた今でも、ご自身の出身大学の空手部の指導に行かれます。その精神をもっていれば、学生もきっと次の世代へ恩送りをしてくれるであろうとの願いをもって通い続けておられるとのことでした。この話を聞いて、自分はどうだろうかと考えました。私自身、親から教えられたことを我が子に送ることができていたか、自問しました。受けたことの半分も返してやっていないのではと猛省しました。恩送りをきちんとすることで、良い文化を次の時代に継承できるのではないかと考えます。また、私たち教員も若い教員が多い中、先輩として伝えていかねばならないと思うと同時に、七松小学校の伝統を、もうすぐ卒業していく6年生は、しっかりと下の学年に伝えてほしいなと思います。

春はもうそこまで来ています。6年生は、卒業に向けて様々な行事があります。2月は、地区のバスケットボール大会、お別れ遠足、6年生を送る会等が予定されています。その他の学年も、まとめの時期です。期待をもって次の学年に進むことができるよう、みんなで力を合わせて、進んでいきます。

